

学校関係者評価結果を受けた改善策について

小郡市立 小郡小学校

I 未来へ向かう「心」の育成について

評価結果	改善の具体的方策
保護者アンケートから「目標をもって」「ねばり強く」「思いやりや責任感をもつ」が向上した。	「おごおりっ子のやくそく」の共通理解と、共通実践を徹底する。

II 生きて働く「知」の育成について

評価結果	改善の具体的方策
低位層の習熟・理解のための教育活動の更なる推進をはかる。	学習理解に課題が見られる児童の原因を分析し、小郡方式の授業改善を徹底する。

III 健康で逞しい「体」の育成について

評価結果	改善の具体的方策
コロナ禍の中、感染防止対策を取りながら運動会（体力向上）に取り組んである。	基礎体力の向上をはかるために「体力向上プラン」を共通理解し、実践していく。

IV 地域とともにある学校づくりについて

評価結果	改善の具体的方策
HPの活用、学校支援ボランティア・GTなど地域と連携した取組がされ高い評価になっている。	地域と連携した内容を継続・改善しながら、カリキュラムに位置付けていく。

V ICT活用力の育成について

評価結果	改善の具体的方策
様々な教科でタブレットを活用した授業が試みられ、子どもたちの意欲も高まっている。	更なる有効活用及びモラル教育を推進するための研修の充実をはかる。

VI 個に応じた学びの充実について

評価結果	改善の具体的方策
どの評価項目も高いので、熱心に取り組がなされている。	個に応じた学びの形態の工夫や、保護者・専門機関との連携をはかる。

VII 教職員の資質向上の推進について

評価結果	改善の具体的方策
ICT教育など新しいことが増えてきており、校内研修の内容の見直しや時間確保が必要でないか。	教職員が自ら学び続けるということを確認し、校内研修の内容精選を行う。

VIII 小中9年間を見通した指導体制の充実について

評価結果	改善の具体的方策
コロナ禍の中でも、小中連絡会で児童の実態交流や人権・部落問題学習の情報交換がなされている。	小中合同学習会を開催し、めざす子ども像を明確にしたり、課題を共有したりする。

IX 働き方改革の推進について

評価結果	改善の具体的方策
遅くまで明かりがついている。メンタル面を含め管理職の声かけが必要でないか。	職員の負担軽減につながる専科授業・交換授業・教科担任制を推進する。

X 人権・同和教育の啓発推進について

評価結果	改善の具体的方策
「つながる心」「関わり合い」を大事にする視点に立った取組で、子どもたちが少しずつ成長している。	「共感」をテーマに更なる授業改善をはかり、子どもの姿を通した啓発をすすめる。